

参考資料

平成27年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
教 育 局

新規事業及び重要事業総括表

I 総額

【一般会計】

区分	平成27年度	平成26年度	伸び率
予算総額	483,566,557千円	470,164,555千円	2.9%
一般会計構成比	26.4%	27.2%	—

【埼玉県高等学校等奨学金事業特別会計】

予算総額	519,866千円	619,636千円	△16.1%
------	-----------	-----------	--------

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 確かな学力と自立する力の育成

(1) 一人一人を確実に伸ばす教育の推進

P 1 学力・学習状況調査実施事業【義務教育指導課】 215,853

(2) 確かな学力の育成

P 2 新規 未来を拓く「学び」プロジェクト【高校教育指導課】 5,000

P 3 課題を抱える生徒の自立を支援する共助プラン
【高校教育指導課・生徒指導課】 59,482

P 4 新規 一人一人に目を向けたアドバンスド事業【義務教育指導課】 3,200

P 1 学力・学習状況調査実施事業【義務教育指導課】 215,853 (再掲)

P 5 一部新規 放課後子供教室推進事業【家庭地域連携課】 158,459

(3) 伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進

P 6 新規 県立高校グローバルリーダー育成塾【高校教育指導課】 36,683

P 7 一部新規 県立高校グローバル教育総合推進事業
【高校教育指導課】 434,647
スーパーグローバルハイスクール事業【高校教育指導課】 79,999

P 8 県立高校プロフェッショナル育成推進事業
【高校教育指導課】 49,261

P 9 新規 「埼玉ハッシン！」グローバルキッズ育成事業
【義務教育指導課】 3,200

(4) 時代の変化に対応する教育の推進

みどりの再生に取り組む県立高校パワーアップ事業
【高校教育指導課】 6,255

「教育の情報化」基盤整備費【高校教育指導課】 728,326

(5) キャリア教育・職業教育の推進

P 10 新規 定時制高校生のためのチャレンジ雇用推進事業
【高校教育指導課】 1,232

P 8 県立高校プロフェッショナル育成推進事業
【高校教育指導課】 49,261 (再掲)

一部新規 キャリア教育総合推進事業【義務教育指導課】 2,841

(6) 幼児教育の推進

新規	保育教諭確保のための幼稚園教諭免許状取得支援事業	【家庭地域連携課】	9,561
	幼少期教育充実事業【家庭地域連携課】		701

(7) 特別支援教育の推進

P11	自立と社会参加を目指す特別支援学校就労支援総合推進事業	【特別支援教育課】	42,432
P12	自立と社会参加を目指す特別支援学校整備事業	【特別支援教育課】	3,907,720
	共生社会を支える特別支援教育推進事業【特別支援教育課】		29,805

2 豊かな心と健やかな体の育成

(1) 豊かな心を育む教育の推進

P13	自立心をはぐくみ絆を深める道德教育推進事業	【生徒指導課】	20,244
	自分発見！高校生感動体験プログラム事業【生徒指導課】		8,169

(2) いじめ・不登校・高校中途退学の防止

P3	課題を抱える生徒の自立を支援する共助プラン	【高校教育指導課・生徒指導課】	59,482 (再掲)
	ネット問題対策教育推進事業【生徒指導課】		6,360
P13	自立心をはぐくみ絆を深める道德教育推進事業	【生徒指導課】	20,244 (再掲)
P14	いじめ・不登校対策相談事業【生徒指導課】		760,678
	いじめ・非行防止学校支援推進事業【生徒指導課】		16,146

(3) 生徒指導の充実

	いじめ・非行防止学校支援推進事業【生徒指導課】		16,146 (再掲)
--	-------------------------	--	-------------

(4) 人権を尊重した教育の推進

	人権感覚育成事業【人権教育課】		779
--	-----------------	--	-----

(5) 健康の保持・増進

P15	新規 がんの教育総合支援事業【保健体育課】		1,201
-----	-----------------------	--	-------

(6) 体力の向上と学校体育活動の推進

	運動部活動充実事業【保健体育課】		22,895
--	------------------	--	--------

3 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

(1) 教職員の資質能力の向上

	公立学校教職員人材確保事業【教職員採用課】		5,540
	埼玉ティーチャーズカレッジ連携事業【小中学校人事課】		13,374
P9	新規 「埼玉ハッシン！」グローバルキッズ育成事業	【義務教育指導課】	3,200 (再掲)

(2) 学校の組織運営の改善と魅力ある県立学校づくり

P16	新規 時代に応え未来を拓く県立高校パワーアップ事業	【県立学校人事課】	2,042
P17	新規 未来を拓く学校づくり推進事業【県立学校人事課】		2,557
	学校経営改革推進事業【県立学校人事課】		2,414

(3) 子供たちの安心・安全の確保

県立学校非構造部材耐震対策事業【財務課】	1425,012
県立学校食堂兼合宿所等耐震化事業【財務課】	626,211
新規 高校生自転車交通事故防止対策事業【保健体育課】	3,308

(4) 学習環境の整備・充実

公立高等学校就学支援金事業【財務課】	8,185,453
埼玉県国公立高等学校等奨学のための給付金事業【財務課】	1,168,685
P18 新規 教育環境整備基金積立金【財務課】	2,879
県立学校大規模改修費【財務課】	2,163,237
P19 埼玉県高等学校等奨学金事業【財務課】	519,866

4 家庭・地域の教育力の向上

(1) 家庭教育支援体制の充実

家庭教育支援推進事業【家庭地域連携課】	2,234
---------------------	-------

(2) 地域の教育力の向上

P5 一部新規 放課後子供教室推進事業【家庭地域連携課】	158,459 (再掲)
学校応援団推進事業【家庭地域連携課】	16,775
P20 元気な地域を創造する子ども大学推進事業【生涯学習文化財課】	3,100

(3) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

彩の国教育の日推進事業【家庭地域連携課】	504
----------------------	-----

5 生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進

(1) 学び合い共に支える社会を目指す生涯学習の推進

新規 教育関係庁舎非構造部材耐震対策事業【財務課】	90,574
新規 県立図書館再編整備事業【生涯学習文化財課】	310,864
P20 元気な地域を創造する子ども大学推進事業【生涯学習文化財課】	3,100 (再掲)

(2) 文化芸術の振興と伝統文化の継承

埼玉県芸術文化祭開催費【生涯学習文化財課】	5,187
文化財保護事業補助【生涯学習文化財課】	114,280
美術作品取得事業【生涯学習文化財課】	3,302

(3) スポーツを通じた元気な埼玉づくり

P21 新規 スポーツを活用した地域振興事業【スポーツ振興課】	66,889
新規 ラグビーワールドカップ2019大会準備推進事業【スポーツ振興課】	10,000
P22 第70回国民体育大会関東ブロック大会開催事業【スポーツ振興課】	104,190

III 教職員の定数

P23

区分	平成27年度	平成26年度	増減
条例定数	47,222人	47,217人	5人

学力・学習状況調査実施事業

担当 義務教育指導課 学力調査担当

内線 6779

1 趣 旨

小・中学校における県独自の学力・学習状況調査を実施することで、児童生徒一人一人の学習内容の定着や学力の伸び、学習意欲等を把握する。

調査結果を活用し、市町村への支援の充実を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進する。

2 事業内容

(1) 「埼玉県学力・学習状況調査」の実施

ア 平成27年度調査

(ア) 調査対象 ・ 小学校第4学年～中学校第3学年

(イ) 調査内容

①教科に関する調査

- ・ 小学校第4～第6学年：国語、算数
- ・ 中学校第1学年：国語、数学
- ・ 中学校第2, 3学年：国語、数学、英語

②質問紙調査

- ・ 学習に対する意識、生活の様子、
規律ある態度等

(ウ) 調査実施日 ・ 平成27年4月16日（木）

(エ) 結果の公表 ・ 県全体、市町村別の結果一覧を公表

イ 平成28年度調査

調査に向けての問題の作成・印刷等の準備を行う。

(2) 調査の特徴と効果

特 徴

- 児童生徒一人一人の「学習内容の定着状況」＋ 「学力の伸び」を把握
- 生活の状況や学習意欲など、**子供の状況を多面的に把握**

効 果

- 「学力の伸び」の把握
→ 学校・市町村の取組の成果を可視化、児童生徒の「学習意欲」の喚起
- 子供の状況を多面的に把握
→ 児童生徒一人一人に応じた指導の充実

3 平成27年度予算額

215,853千円

未来を拓く「学び」プロジェクト

担当 高校教育指導課 未来を拓く学び推進担当
内線 6625

1 趣 旨

生徒が主体的・協働的に学ぶ「アクティブ・ラーニング」を推進するために、県として全国に先駆けて取り組んでいる「協調学習」による授業改善をさらに発展させる。これを従来の一斉学習や協働学習等と連動させながら、バランス良く進め、将来の埼玉県を担う、時代に応え未来を拓く人材を育成するとともに、全国をリードする課題解決モデルとして確立する。

2 事業内容

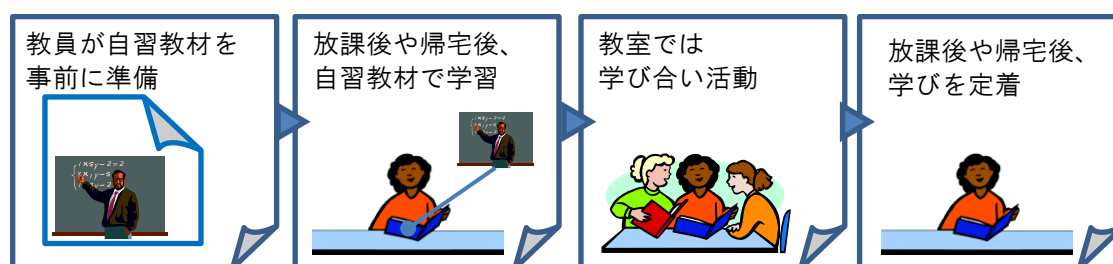
(1) 主体的な「学び」による授業改善

- ・生徒が主体的・協働的に学ぶ「協調学習」を中心に、従来の授業手法をバランス良く組み合わせた授業づくりによる質の高い授業の実践。
- ・生徒たちが新たな学習内容を自宅等で予習し、教室では協働しながら取り組む形態の「反転授業」の授業づくり及び実践。

(2) 主体的な「学び」を推進する教員ネットワークの構築

- ・次代を担う若手教員や核となる教員の育成など、教員の層を盤石なものにする。
- ・教科、学校、県の枠を超えた教員ネットワークを構築し、質の高い授業教材を共同開発する。

反転授業と協調学習を組合せた授業実践のイメージ



3 平成27年度予算額

5,000千円

課題を抱える生徒の自立を支援する共助プラン

担当 高校教育指導課

体験活動・キャリア教育推進担当

生徒指導課 非行・中退防止担当

内線 6772、6744

1 趣 旨

基礎学力に課題を抱えた高校生を対象として、大学生等を活用し、義務教育段階の学習内容の学び直しを進める。また、NPOや地域と学校が連携し、生徒一人一人の適性に応じた社会的・職業的自立に必要な力を育成する。

この事業により、生徒の基礎学力を定着させ、中途退学を防止するとともに、ニート・フリーターになることを防ぐ。

2 事業内容

(1) 学習支援

ア 学習サポーターの配置

- ・全日制10校、定時制19校に配置し、特に中途退学者の多い高校1年生を対象に、国語、数学、英語の学び直しを徹底する。

(2) 自立支援

ア 外部の力を活用した中途退学防止

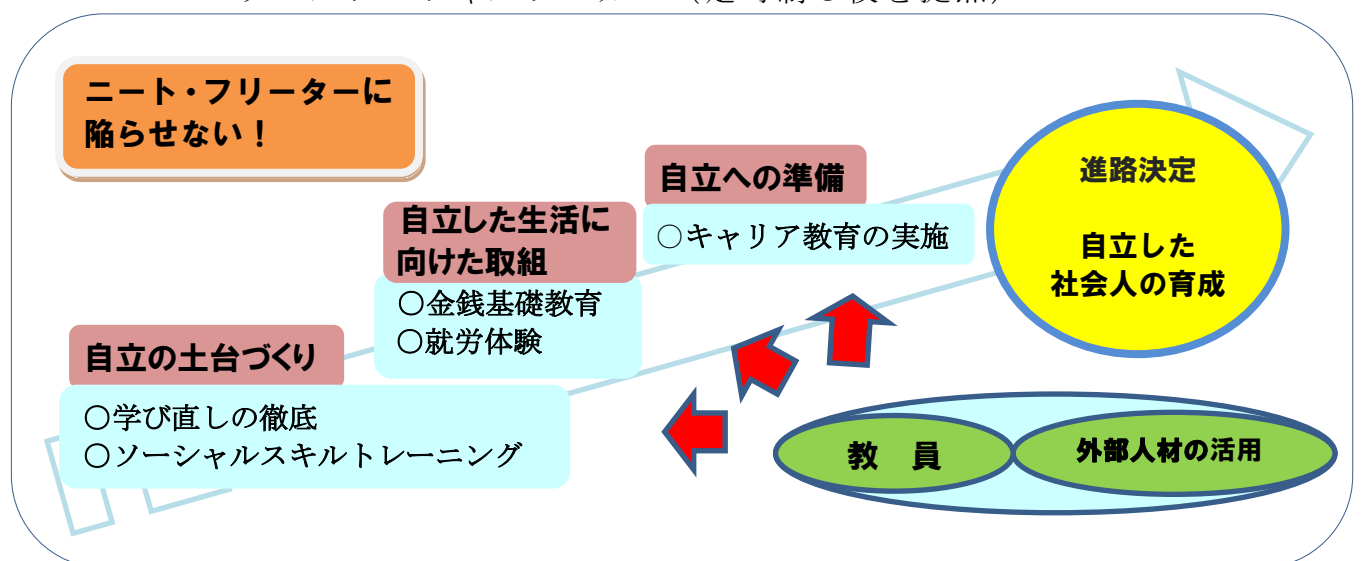
- ・自立のための土台づくりである他者との良好な人間関係づくりを学ばせるため、地元企業等と連携した体験活動等を実施する。

イ 生徒を学校に導くための環境整備

- ・不登校経験や家庭の経済的困窮など、生徒自身だけでは解決できない問題に対し、心理や福祉の専門家を全ての定時制高校に派遣できる体制を整備し、生徒の支援を行う。

スクールカウンセラー（定時制10校を拠点）

スクールソーシャルワーカー（定時制8校を拠点）



3 平成27年度予算額

59,482千円

一人一人に目を向けたアドバンスド事業

担当 義務教育指導課 学力向上推進担当
内線 6778

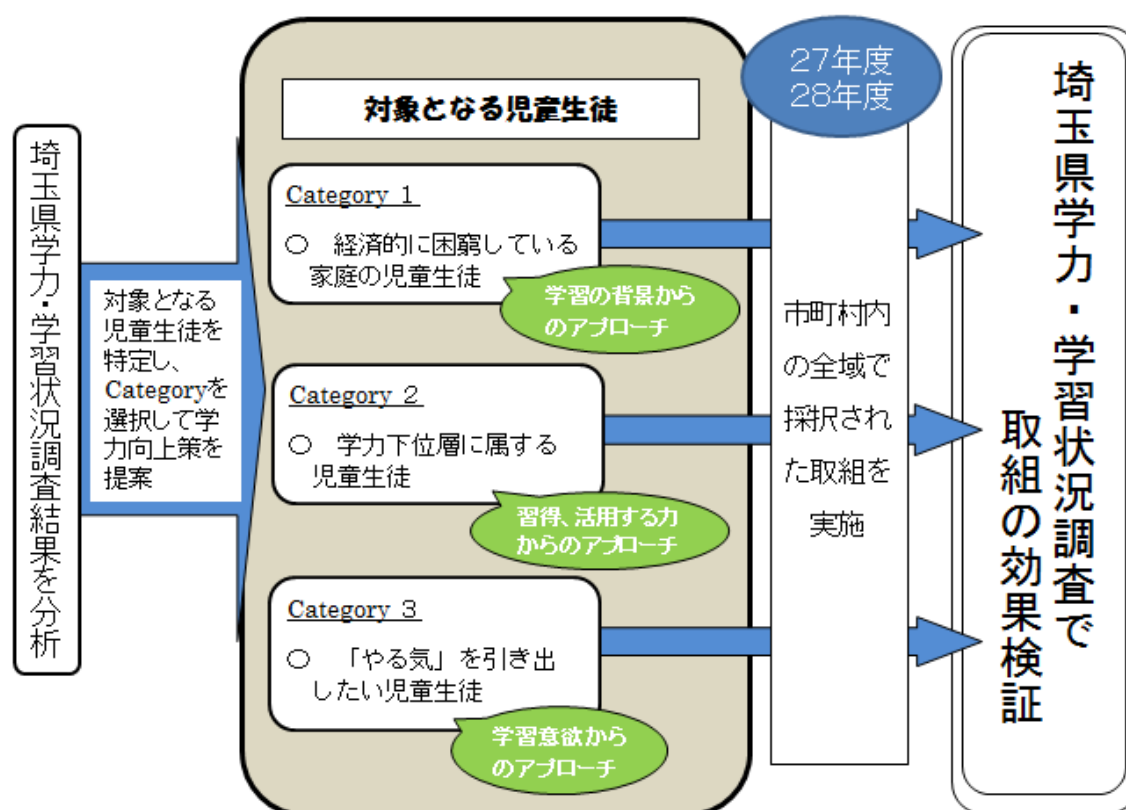
1 趣 旨

児童生徒一人一人の学力を向上させるため、埼玉県学力・学習状況調査の結果を活用し、児童生徒の状況に応じた市町村提案型の学力向上策を展開する。

市町村の取組の成果を県内に普及することで県内の学力向上につなげる。

2 事業内容

市町村が埼玉県学力・学習状況調査を分析し、家庭状況、学力層、学習意欲など児童生徒の状況に応じて学力向上策を提案し、県が審査・採択する。採択された市町村は課題解決に向けた取組を行う。



取組の成果は、ホームページでの公開、各種会議での発信、協議会等での題材として活用するなどして普及を図る。

3 平成27年度予算額

3,200千円

放課後子供教室推進事業

担当 家庭地域連携課 総務・企画・連携推進担当
内線 6976

1 趣 旨

市町村が実施する、放課後等における子供たちの安心・安全な活動場所を設ける「放課後子供教室」、土曜日に社会人や企業の参画を得て子供たちの活動を支援する「土曜日の教育支援」の取組を支援する。

また、新たに地域の人材を活用し、学力向上に課題を抱える中学生を支援する「中学生学力アップ教室」の取組を支援する。

2 事業内容

- (1) 市町村が実施する「放課後子供教室事業」「土曜日の教育支援事業」「中学生学力アップ教室事業」への支援

市町村への補助金の交付、会議等による情報提供

- ・放課後子供教室事業 38市町実施
- ・土曜日の教育支援事業 11市町実施
- ・【新規】中学生学力アップ教室事業 10市町実施

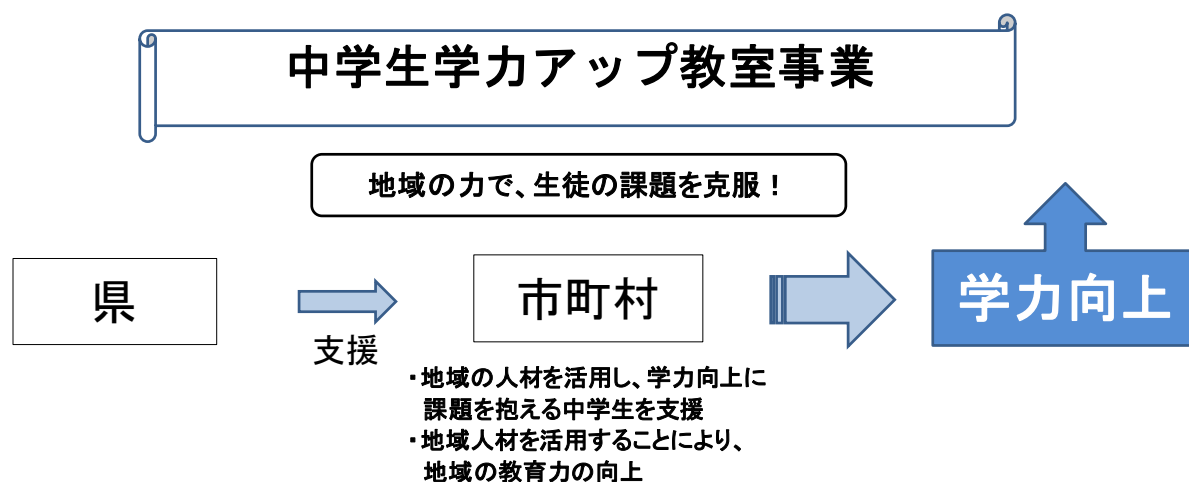
- (2) 推進委員会の設置

実施方針の検討、指導者研修の企画等を行う推進委員会を設置

- (3) 指導者研修の実施

コーディネーターや教育活動サポーター等の資質向上や情報交換・情報共有を図るための研修を実施

- ・年4回実施



- 3 平成27年度予算額 158,459千円

県立高校グローバルリーダー育成塾

担当 高校教育指導課 体験活動・キャリア教育推進担当
内線 6772

1 趣 旨

海外大学への派遣や著名な方々による講演等を通じて、将来グローバルリーダーとして活躍できる、世界的な視野と豊かな国際感覚を備えた人材の育成を図る。

2 事業内容

(1) 海外プログラム

県立高校生50人を、米国のハーバード大学・マサチューセッツ工科大学へ10日間派遣し、講義の聴講や研究施設の訪問、現地学生との交流等を行う。

(2) 国内プログラム

海外で学ぶ目的や目標を明確にさせるとともに、チャレンジ精神や使命感を高めるため、地球規模の課題に第一線で活躍する講師による講演会と英語能力向上を目的とした集中講義を実施する。

【内容】開塾式、白熱教室入門、地球規模の諸課題に関する講演会、英語によるディベートやプレゼンテーション、閉塾式



3 平成27年度予算額 36,683千円

県立高校グローバル教育総合推進事業

担当 高校教育指導課 教育指導担当
内線 6771

1 趣 旨

グローバル化の急速な進展により、社会で求められる能力が多様化していることから、高校生の特長に応じたグローバル教育のメニューを通して、コミュニケーション能力を育成するとともに世界で通用する教養を身につけさせる。

2 事業内容

(1) 高校生・教員の短期海外派遣

ア 高校生の海外派遣

- ・ 県立高校10校において、学校単位で海外大学等へ派遣する。
- ・ 県立高校生20人をメキシコ州へ短期派遣。

イ 教員の海外派遣

- ・ 教員4人を海外に派遣し、カリキュラム、教科の指導方法、学習教材の作成方法、授業力向上のための研修方法を学ぶ。

(2) 世界の哲学・芸術文化アカデミー

ア 古典セミナー

- ・ 県立高校生40人が、日本アスペン研究所の協力により、「古今東西の古典」を読み込み、参加者同士で対話を行う。
- ・ 古典セミナー普及のために教員対象の指導者研修を実施する。

イ 芸術文化セミナー

- ・ 県立高校生40人が、彩の国さいたま芸術劇場の協力により、古典作品を題材とした表現活動を行う。
- ・ 県立高校生40人が、県立近代美術館の協力により、一流の作品を題材に鑑賞等を行う。

(3) 【新規】「地球人」育成事業

- ・ 県立高校4校にデジタル地球儀を設置し、地球規模で物事を考えられる生徒を育成する。

3 平成27年度予算額

434,647千円



県立高校プロフェッショナル育成推進事業

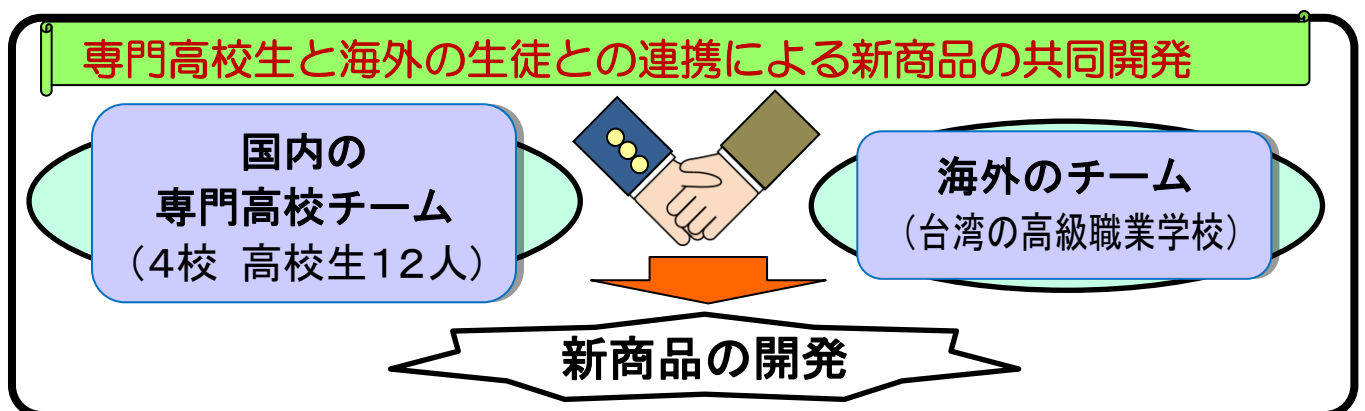
担当 高校教育指導課 産業教育担当
内線 6769

1 趣 旨

専門高校等において企業等の支援を受け、職業教育の充実を図り、将来の地域産業を担う専門的職業人の育成を図る。

2 事業内容

- (1) 埼玉からアジアへの扉を開く！実践的職業教育グローバル事業
 - ア 専門高校生の海外派遣及び海外の生徒との連携による商品開発
 - イ 県内における商品開発
 - ・専門高校の学校・学科の枠を超えたチームにより新商品を開発する。
 - ウ 国内における基盤講座分野
 - ・農業、工業、商業、家庭、看護、福祉の各専門分野において基盤講座を実施し、基礎的・基本的な知識、技術及び技能の習得を図る。
- (2) 職業教育推進事業
専門高校と企業等との連携による産業教育フェアの開催、高校生に対する専門資格の取得奨励、秀でた技術・技能を持った専門家による授業、大学や研究機関の研究者等による科学授業を実施する。
- (3) 再生可能エネルギー普及のための高校生地域貢献事業
木質バイオマスエネルギー活用設備を利用し、生徒の力を生かした地域貢献等により、再生可能エネルギーの普及に取り組む。
- (4) スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）事業
高度な知識・技能を身に付けた専門的職業人を育成するためのカリキュラム研究や大学・研究機関等との効果的な連携の実践研究に取り組む。



3 平成27年度予算額 49,261千円

「埼玉ハッシン！」グローバルキッズ育成事業

担当 義務教育指導課 教育指導担当
内線 6752

1 趣 旨

日本や埼玉県の良さを世界に発信できる児童生徒を育成するため、実技教科における伝統文化を内容とした公開授業の実施や映像資料の配信を行い、教員の指導力の向上を図る。

2 事業内容

(1) 公開授業等の実施

指導力に定評がある教員と指導主事が協力し、伝統文化に関する授業モデルを練り上げ、教員の指導力を一層高めるため、公開授業・研究協議を実施する。

ア 各年度の実施教科

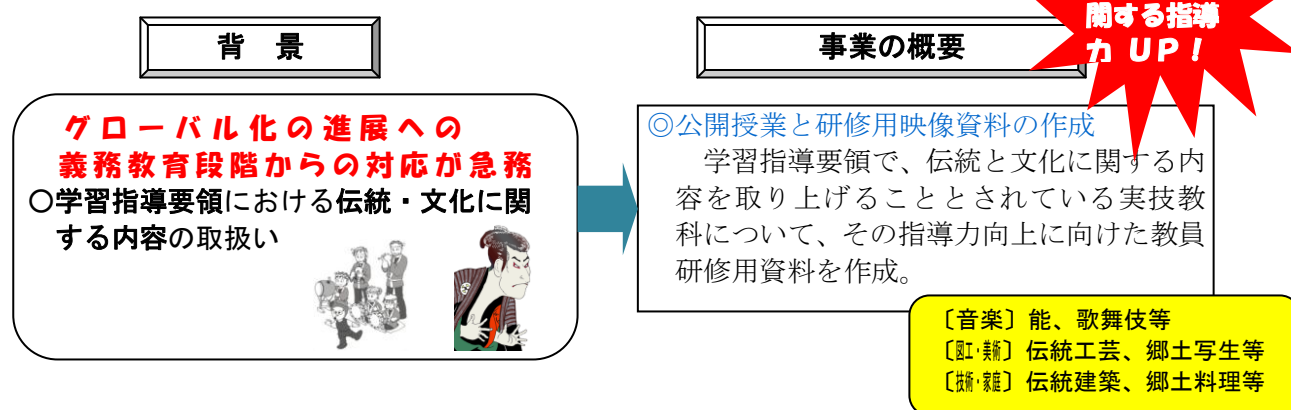
- ・平成27年度：（小学校）音楽 （中学校）音楽
- ・平成28年度：（小学校）図画工作、家庭
（中学校）美術、技術・家庭

イ 公開授業の回数、参加者

- ・各教科4回、1回あたりの参加者は30名程度

(2) 授業の映像を収録し配信

研修機会が少ない教科で、教員が伝統文化に関する授業をより充実させるため、授業のポイント等を示した研修用映像資料を作成する。



3 平成27年度予算額

3,200千円

定時制高校生のためのチャレンジ雇用推進事業

担当 高校教育指導課

体験活動・キャリア教育推進担当

内線 6772

1 趣 旨

定時制高校生のうち、不登校経験者や引きこもりがちな生徒を対象として、農業体験やアルバイト体験を通して社会と接点を持たせ、継続的な就業の意識や、卒業後の正規雇用への意欲を喚起する。また労働の対価を得る経験から自信と勤労観を培わせる。

この事業により、定時制高校生全体の進路決定者の増加を図る。

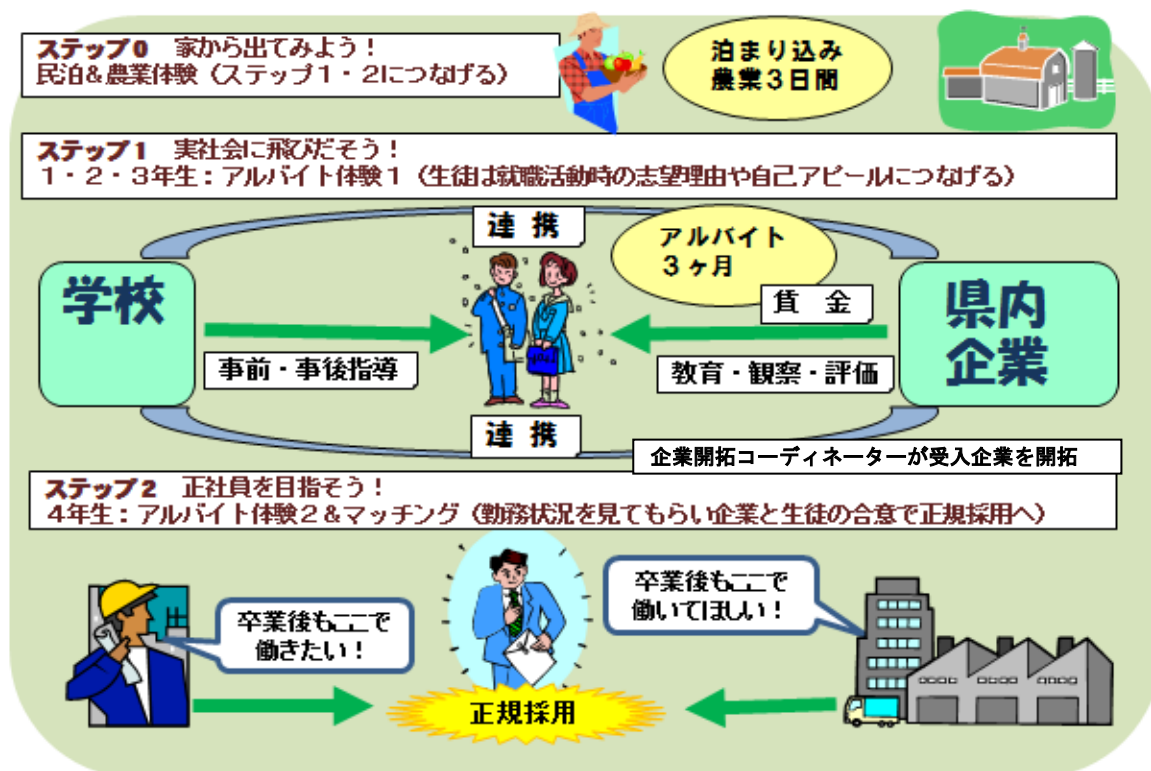
2 事業内容

(1) 農業体験

- ・引きこもり等の程度によりアルバイト体験に至らない生徒に対し、宿泊での農業体験（年1回実施）を実施し、コミュニケーション能力を養わせる。

(2) アルバイト体験

- ・民間企業での3ヶ月間のアルバイト体験を通し、その後のアルバイトや就職活動にも耐えうる、勤労観や職業意識の土台を作る。
- ・企業開拓コーディネーターが受入企業（60社程度）を開拓する。



3 平成27年度予算額

1,232千円

自立と社会参加を目指す特別支援学校就労支援総合推進事業

担当 特別支援教育課 特別支援学校担当
内線 6888

1 趣 旨

障害のある生徒の自立と社会参加を実現するため、特別支援学校高等部生徒の就労支援を総合的に推進する。

2 事業内容

(1) 障害者雇用の仕組の構築

特別支援学校の一般就労率の向上を図るため、教育委員会が特別支援学校の卒業生を雇用し、一般就労及び障害者雇用の促進に向けた仕組みづくりを実施する。

(2) 企業のニーズを踏まえた職業教育の推進

就労状況の変化に対応し、企業のニーズを踏まえた職業教育を推進する。

ア 3D（3日間）意識向上民間研修を実施し、意識改革と職業教育の充実を図る。

イ 特例子会社幹部等を就職支援アドバイザーとして配置

ウ 卒業生による講演会の開催

(3) 就労可能な企業の情報の収集

関係機関との連携により、生徒の実習及び就労可能な企業の情報を収集する。

ア ハローワーク等との共同職場開拓

イ 企業情報の収集

(4) 企業に向けての理解啓発

企業向けの学校公開を実施し、企業の理解啓発を図る。

3 平成27年度予算額 42,432千円

自立と社会参加を目指す特別支援学校整備事業

担当 特別支援教育課 特別支援学校改革担当
内線 6883

1 趣 旨

特別支援学校に在籍する児童生徒一人一人のニーズに応じた適切な支援を行う体制づくりを進めるとともに、特別支援学校に在籍する児童生徒の増加に対応するため、学習環境等の整備充実を図る。

2 事業内容

(1) 県西南部地域特別支援学校（仮称）の設置（工事）

特別支援学校高等部生徒の卒業後の自立に向けたキャリア教育・職業教育の充実を図るとともに、県西南部地域の特別支援学校に在籍する児童生徒の増加に対応するため、閉校した県立入間高等学校の校舎を活用して、新たな知的障害特別支援学校（高等部）を設置する。

平成27年度は、校舎の改修工事を実施する。

- ア 設置場所 : 旧県立入間高等学校
- イ 設置学部（学科） : 高等部（普通科・職業学科）
- ウ 設置規模 : 50教室程度
- エ 開校年月 : 平成28年4月（予定）

(2) 既存特別支援学校の学習環境の整備

児童生徒一人一人のニーズに応じた適切な支援を行う体制をつくるため、また在籍児童生徒の増加に対応するため、必要となる備品等を整備する。

3 平成27年度予算額 3,907,720千円

自立心をはぐくみ絆を深める道徳教育推進事業

担当 生徒指導課 総務・登校支援・心の教育担当
内線 6745

1 趣 旨

命を大切にすする心や思いやりの心、夢に向かい希望と勇気を持ってやり抜く強い意志など、子供たちの豊かな心を育む道徳教育の一層の推進を図る。

2 事業内容

- (1) 市町村の特色ある道徳教育の取組への支援
市町村の特色ある道徳教育の取組を支援する。
- (2) 「彩の国の道徳」研究推進事業
道徳教育研究推進モデル校を指定
・研究推進モデル校を中心とし、道徳教材「彩の国の道徳」を活用し、学校・家庭・地域が一体となった道徳教育の取組を県内に普及する。
- (3) 道徳教育に係る外部講師派遣事業
様々な専門分野の第一線で活躍する社会人などを講師とした講演会を実施し、子供たちの豊かな心を育む。
- (4) 道徳授業「匠の技」伝承事業
道徳教育に見識の高い指導者を学校に派遣し、教員の指導力向上を図る。
- (5) 道徳の教科化に向けた教育課程研究
ア 道徳の教科化に向け、教育課程編成要領等の作成を行う。
イ 学習指導要領の改訂内容等を周知する研修会を実施する。

3 平成27年度予算額 20,244千円

いじめ・不登校対策相談事業

担当 生徒指導課 総務・登校支援・心の教育担当
内線 6745

1 趣 旨

いじめ防止対策推進法、子どもの貧困対策の推進に関する法律の趣旨を踏まえ、心理や福祉の専門家であるスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等による教育相談体制を整備する。

また、県立学校におけるいじめによる重大事態に対し調査審議を行うほか、いじめ・非行防止支援員を配置し、各学校に指導・助言を行う。

2 事業内容

(1) 重大事態に関する調査

県立学校におけるいじめによる重大事態に対し、弁護士等の第三者の専門家がいじめの事実関係を調査審議する。

(2) いじめ・非行防止支援員の配置

県教育委員会にいじめ・非行防止支援員を配置し、各学校のいじめ問題等への対処に関して指導・助言を行う。

(3) 教育相談体制の充実

ア スクールカウンセラー配置事業

- ・全公立中学校、各教育事務所に配置

イ スクールソーシャルワーカー配置

- ・市町村教育委員会、各教育事務所に配置

ウ 高校相談員配置

エ 精神科医の配置

オ スチューデントサポーター派遣事業

カ いじめメール相談の実施

キ 中学校配置相談員助成事業

ク 相談員研修事業

3 平成27年度予算額 760,678千円

がんの教育総合支援事業

担当 保健体育課 健康教育担当
内線 6963

1 趣 旨

がん教育に関する計画を作成し、作成した計画に基づき、がんの教育に関する多様な取組を実施することにより、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識及び命の大切さに対する理解を深める。

2 事業内容

(1) 協議会の開催

県において、学校関係者、学校医、医療機関関係者、学識関係者、行政関係者等10名で構成する協議会を設置し、がん教育に関する計画作成の指導・助言を行うとともに、成果を検証する。

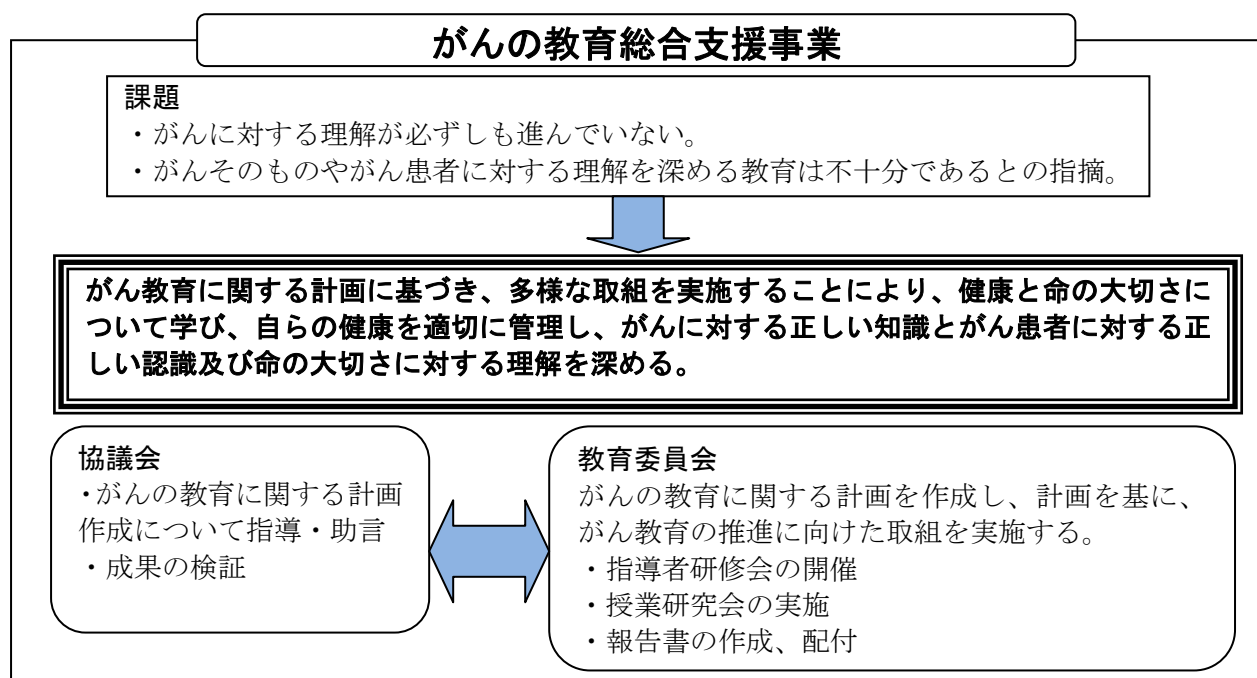
(2) 実践研修会の開催

ア 指導者研修会の開催

がん教育に関する計画を作成し、がん教育の在り方について研修会を開催する。

イ 授業研究会の実施

授業研究会を2回開催し、指導の在り方を模索する。



3 平成27年度予算額

1,201千円

時代に応え未来を拓く県立高校パワーアップ事業

担当 県立学校人事課 高校改革推進担当
内線 6902

1 趣 旨

どの地域でも理数教育を受けられる基盤を確立するため、県西南部における科学技術教育の拠点校を設置する。併せて各拠点校間・研究機関等との連携強化を進め、科学技術を担う人材の輩出を目指す。

2 事業内容

(1) 県西南部科学技術拠点校の設置（設計）

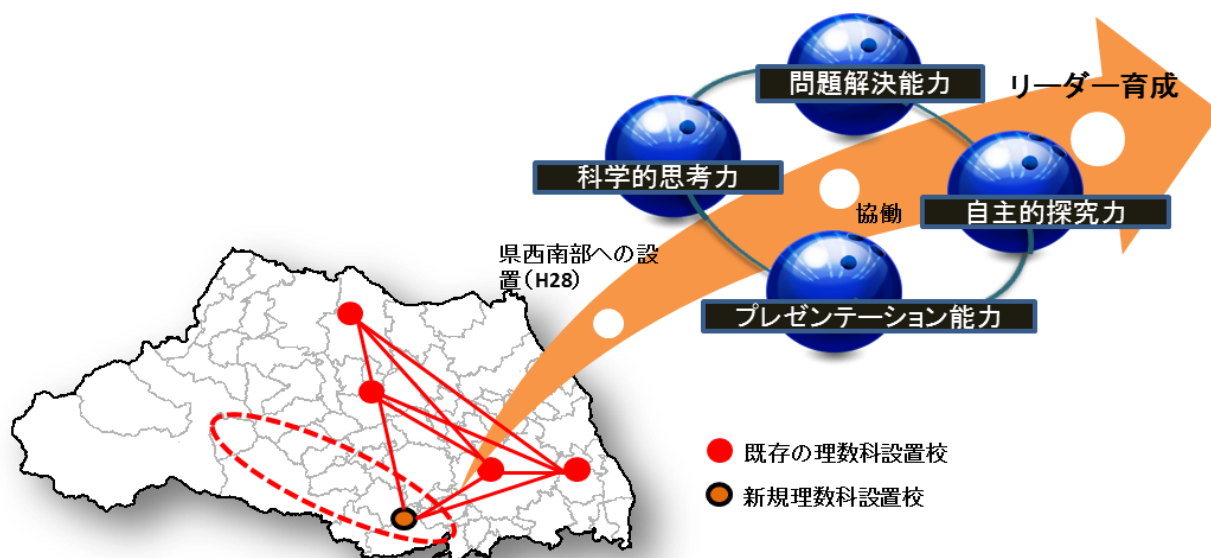
既存の理数科設置校への通学に時間を要する地域である県西南部に拠点校として理数科を1校設置する。

平成27年度は、理数科の設置に必要な校舎改修を行うための設計を実施する。

ア 設置場所：所沢北高等学校

イ 設置年月：平成28年4月（予定）

(2) 施策イメージ図



3 平成27年度予算額 2,042千円

未来を拓く学校づくり推進事業

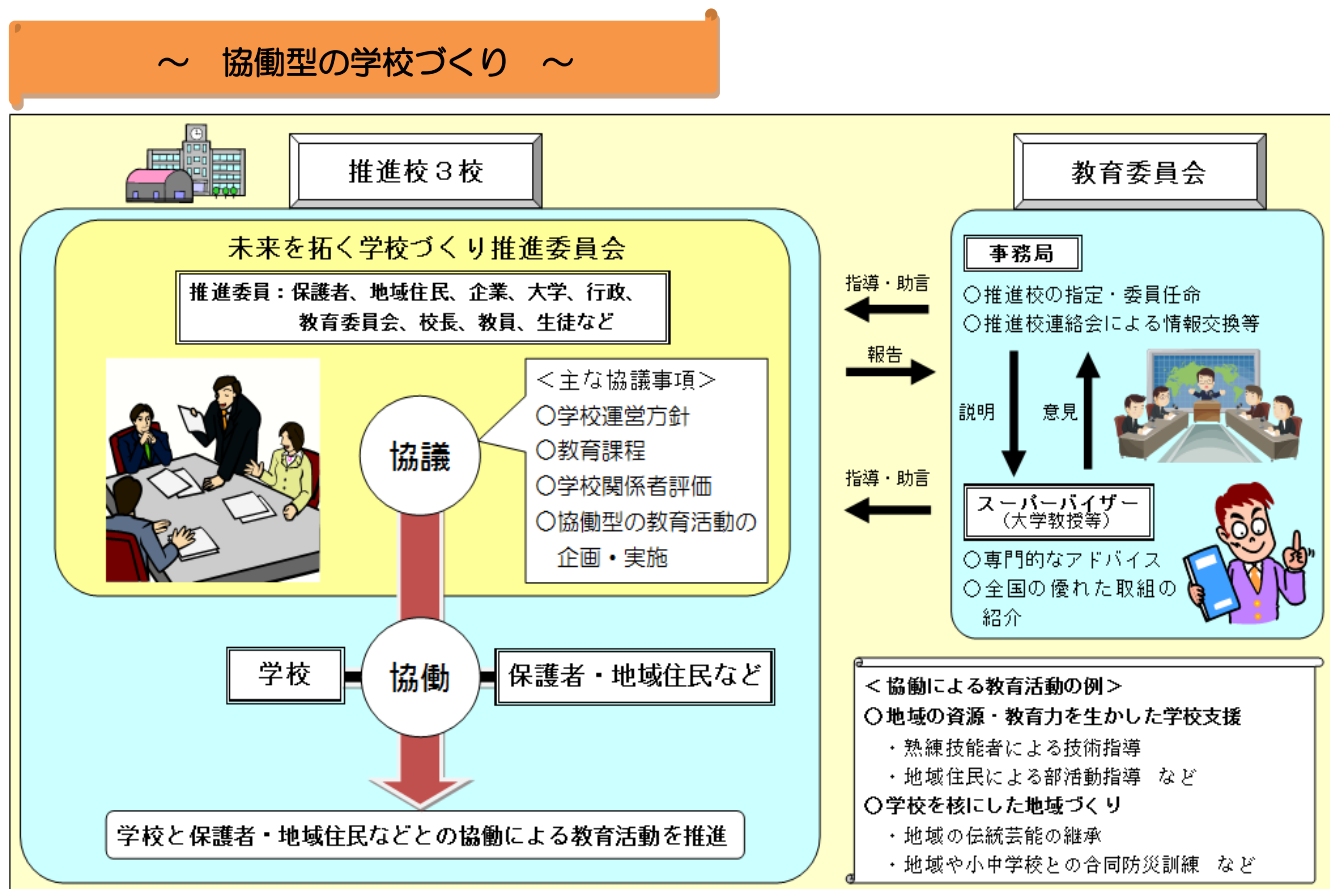
担当 県立学校人事課 学校・人事評価担当
内線 6712

1 趣 旨

地域の期待に応える学校運営と地域の資源を生かした教育活動の実現を図るため、県立学校3校（予定）を指定し、学校と保護者・地域住民などの参画による新しい協働型の学校づくりを推進する。

2 事業内容

- (1) 保護者・地域住民などが学校運営に参画する新たな仕組みの構築
未来を拓く学校づくり推進委員会を設置し、保護者・地域住民などの参画による協働型の学校運営を推進する。
- (2) 保護者・地域住民などとの協働による教育活動の推進
未来を拓く学校づくり推進委員会での協議を踏まえ、地域の資源・教育力などを生かした学校支援及び学校を核にした地域づくりを推進する。



3 平成27年度予算額 2,557千円

教育環境整備基金積立金

担当 財務課 施設企画担当

内線 6 6 4 5

1 趣 旨

埼玉県教育環境整備基金を設置し、特色ある学校教育の推進に資する県立学校の教育環境の整備及び充実に要する経費の財源に充てる。

2 事業内容

埼玉県教育環境整備基金の設置

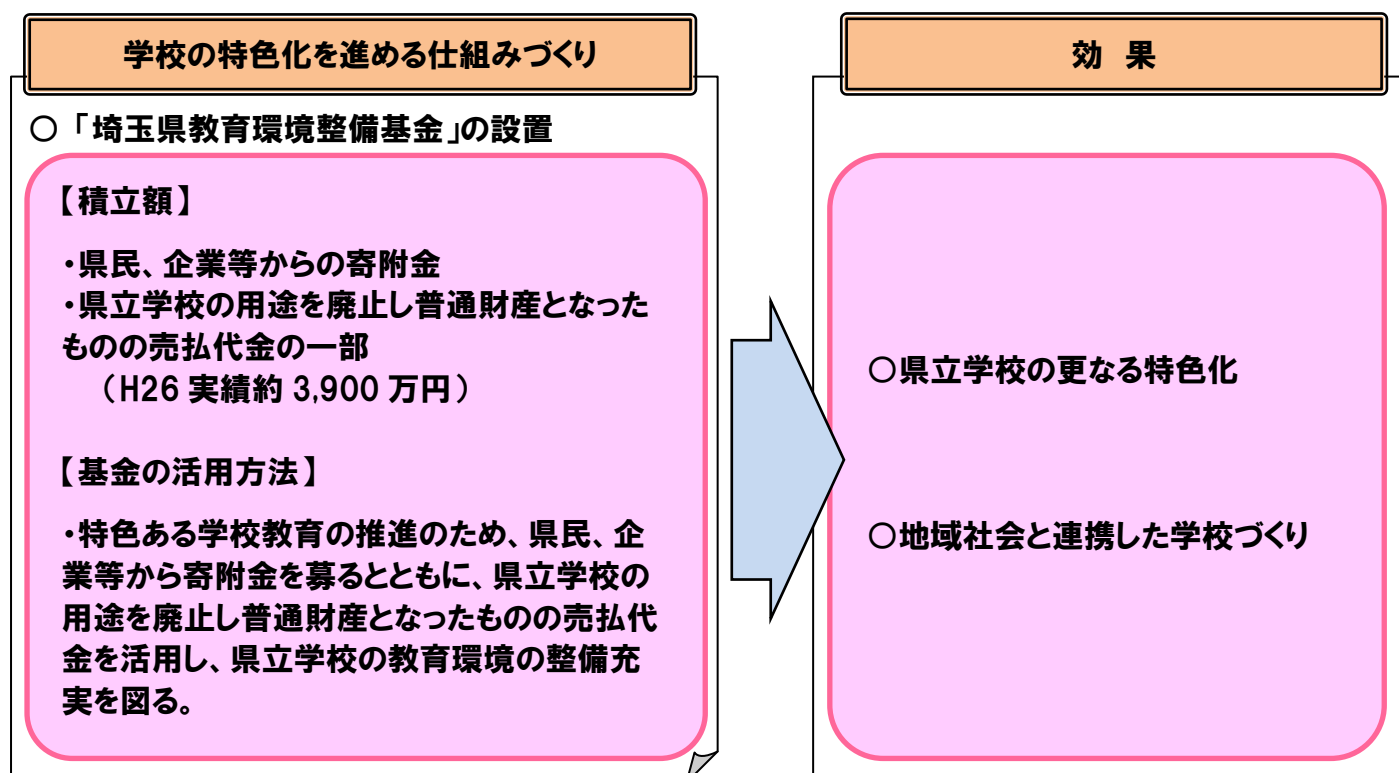
(1) 積立額

ア 基金の設置目的のために寄附された寄附金

イ 用途廃止した学校施設の売払代金の一部

(2) 対象事業

特色ある学校教育の推進に資する県立学校の教育環境の整備及び充実に実施する事業



3 平成27年度予算額

2, 8 7 9 千円

埼玉県高等学校等奨学金事業

担当 財務課 授業料・奨学金担当
内線 6652

1 趣 旨

経済的理由により修学が困難な高校生等に対して奨学金を貸与することにより、修学を支援するとともに、有為な人材の育成に資する。

2 事業内容

(1) 奨学金制度の概要

ア 奨学金貸与の対象者

修学意欲があり、かつ、経済的理由により修学が困難な生徒

イ 貸与額

・国公立	入学一時金	100,000円以内
	月額奨学金	25,000円以内
・私立	入学一時金	250,000円以内
	月額奨学金	40,000円以内

(2) 貸与枠

ア 平成27年度在校生向け

・国公立	2,850人	
・私立	2,850人	計 5,700人

イ 平成28年度入学生向け

・国公立	900人	
・私立	900人	計 1,800人

3 平成27年度予算額 519,866千円



元気な地域を創造する子ども大学推進事業

担当 生涯学習文化財課 生涯学習推進担当
内線 6920

1 趣 旨

子供の知的好奇心を刺激する講義や体験活動を提供することにより、子供の学ぶ力や生きる力をはぐくむ。

また、大学やNPO、企業、市町村などが連携して、地域で地域の子供を育てる仕組みづくりを目指す。

2 事業内容

(1) 各子ども大学実行委員会で実施

＜開校事業＞

大学のキャンパス等で、大学教授や地域の専門家が子供の知的好奇心を刺激する講義などを行う。

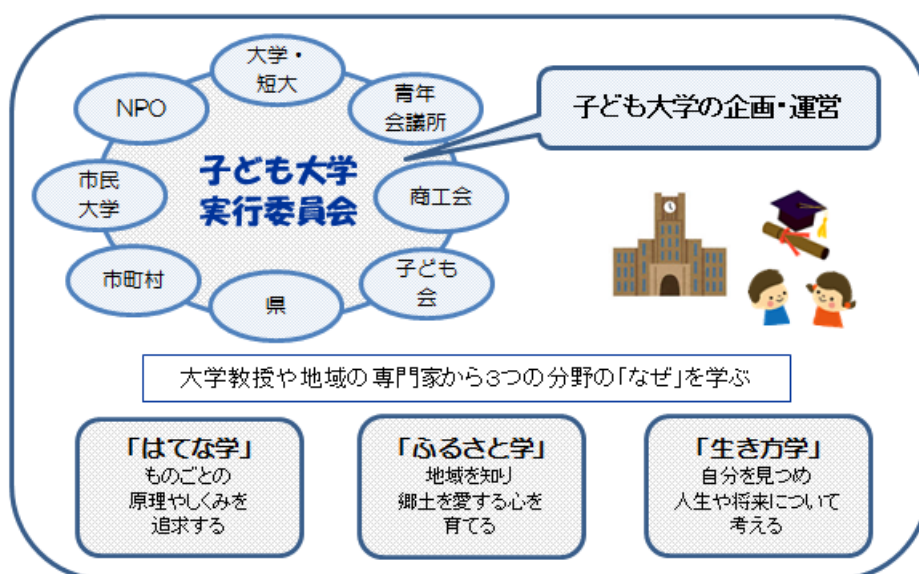
- ・対象 小学校4～6年生（1校30～100人）
- ・会場 東・西・南部地区で計16校を開校予定
- ・内容 「はてな学」、「ふるさと学」、「生き方学」

(2) 子ども大学が連携して実施

＜交流・連携事業＞

複数の子ども大学が連携し、合同講義などを行う。

- ・対象 子ども大学の学生と一般参加の子供
- ・会場 大学、地域の施設など
- ・内容 合同講義、交流・情報交換



3 平成27年度予算額

3,100千円

スポーツを活用した地域振興事業

担当 スポーツ振興課 総務・企画担当
内線 6945

1 趣 旨

全国・世界に打ち出せるスポーツ大会を招致し、地域の活性化につなげるとともに、県民が健康で生きがいのある生活ができるよう、生涯にわたるスポーツの普及推進を図る。

2 事業内容

- (1) 国際女子マラソン大会&埼玉EXPO
- (2) 芸術文化・スポーツによる健康増進
- (3) 埼玉スポーツ情報ポータル
- (4) スポーツ関係団体との連携強化

1 埼玉の魅力発信！国際女子マラソン&埼玉EXPO (56,521千円)	2 芸術文化&スポーツによる健康増進事業 (6,554千円)
国際女子マラソン大会の開催 大会の開催に併せて、イベントブースを開設 ・県内企業による展示即売会 ・観光ブース ・B級グルメブース	健康マイレージポイントを活用した 元気な埼玉づくり 社会教育施設の入館やスポーツイベント への参加状況に応じて、特典を提供 ・社会教育施設の無料入館 ・民間スポーツクラブの無料施設利用等
3 埼玉スポーツ情報ポータル (1,859千円)	4 スポーツ関係団体との連携強化事業 (1,955千円)
県内のスポーツに関する情報を一覧できる システムの構築 ・スポーツイベントの開催情報 ・スポーツボランティアの募集案内 ・スポーツ後の飲食店、合宿施設、 交流試合の参加募集	新たな大規模大会の誘致を円滑に進めて いくため、スポーツ関係団体との連携を 強化 ・中央競技団体との人脈づくり ・大会誘致に向けた協議の場の設定

3 平成27年度予算額

66,889千円

第70回国民体育大会関東ブロック大会開催事業

担当 スポーツ振興課 普及指導担当
内線 6959

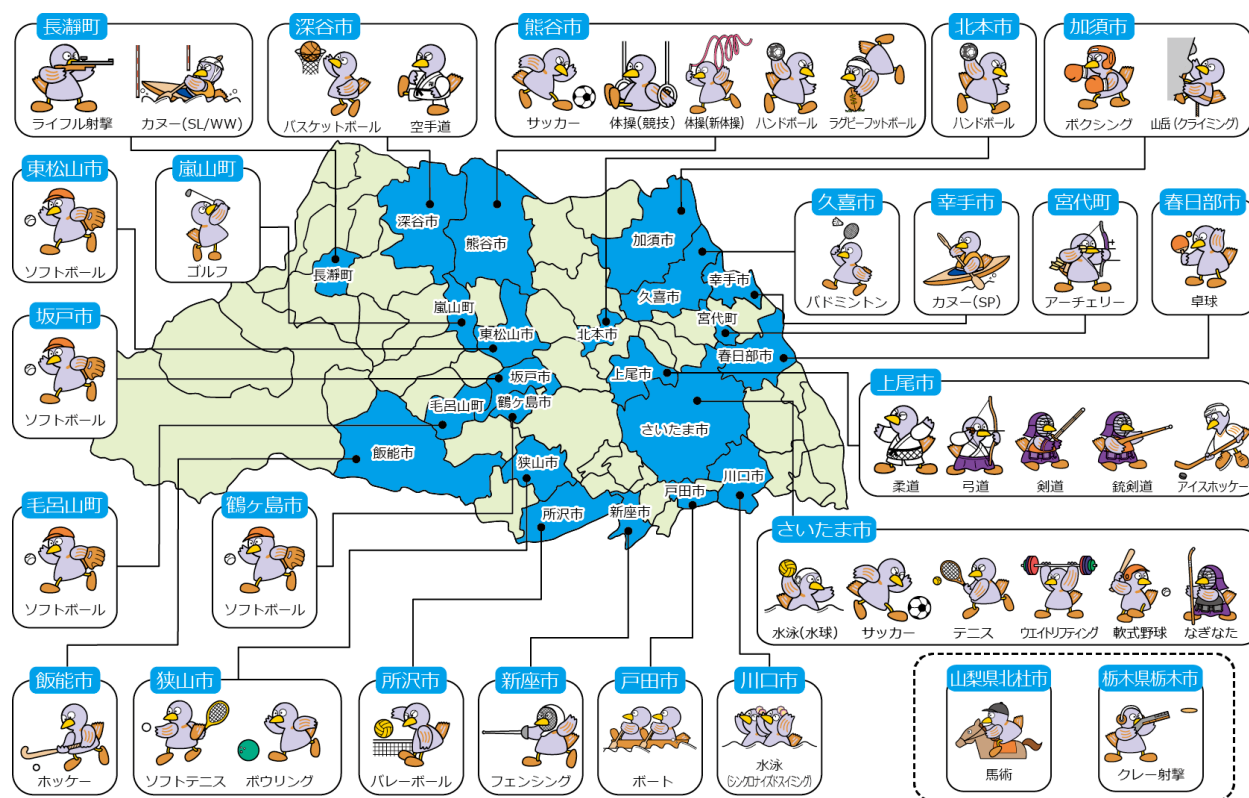
1 趣 旨

平成27年度に第70回国民体育大会関東ブロック大会を開催するため、埼玉県実行委員会を組織し、その活動を支援する。

2 事業内容

- (1) 実行委員会の開催
- (2) 本大会の実施

ア 実施競技（33競技）、競技開催地（24市町）



イ 開催時期

平成27年5月、7月、8月及び12月
※中心会期8月21日～23日

3 平成27年度予算額

104,190千円

教育局条例定数一覧

(単位:人)

区分	平成27年度	平成26年度	増 減	主な増減理由
事務局	726	739	△13	スポーツ振興課の知事部局移管に伴う減
小学校	20,514	20,497	17	国の教職員定数の改善に伴う増
中学校	12,114	12,093	21	国の教職員定数の改善に伴う増
高等学校	9,653	9,696	△43	収容定員の変動に伴う減
特別支援学校	4,215	4,192	23	児童生徒数の変動に伴う増
計	47,222	47,217	5	